

柏原市人口ビジョン策定にかかるイメージ

1. 国の「長期ビジョン」

(1) 人口問題に対する基本認識と今後の基本的視点

国の長期ビジョンは、日本の人口の現状と将来の姿を示し、人口減少をめぐる問題に関する国民の認識の共有を目指すとともに、今後目指すべき将来の方向を提示することを目的としています。

国は、人口問題に対して、「人口減少時代」の到来という基本認識を持っており、今後加速度的に人口減少が進んでいくとしています。人口減少は、経済社会に対して大きな重荷となります。

今後の基本的視点として、人口減少への対応には、大きく 2 つの方向性が考えられます。一つは、出生率を向上させることにより人口減少に歯止めをかける「積極戦略」、もう一つは仮に出生率向上を図っても今後数十年間の人口減少は避けられないことから、今後の人口減少に対応し、効率的かつ効果的な社会システムを構築する「調整戦略」です。この 2 つの対応を同時並行的に進めていくことが必要です。こうした観点から、今後の取組において基本的視点となるのは、次の 3 点です。

- ①「東京一極集中の是正」
- ②若い世代の就労・結婚・子育ての希望を実現する
- ③地域の特性に即した地域課題を解決する

(2) 目指すべき将来の方向

今後目指すべき将来の方向は、将来にわたって「活力ある日本社会」を実現することです。具体的には次の 5 つが掲げられています。

- ①人口減少に歯止めをかける。
- ②若い世代の希望が実現すると、出生率は 1.8 程度に向上する。
- ③人口減少に歯止めがかかると、2060 年に 1 億人程度の人口が確保される。
- ④さらに、人口構造が「若返る時期」を迎える。
- ⑤「人口の安定化」とともに「生産性の向上」が図られると、2050 年代に実質 GDP 成長率は、1.5～2%程度が維持される。

2. 基本的な考え方

(1) 人口ビジョンの位置づけ

(2) 人口ビジョンの対象期間

国の長期ビジョンは 2060 年。(地方は、地域の実情に合った期間を設定可能。)

3. 柏原市の人口分析

(1) 年齢別人口

- ・人口ピラミッドによる人口構成と、年齢3区分別人口による状況

(2) 人口の推移

- ・総人口、世帯数、地区別人口などの過去から現在までの推移

(3) 人口動態

- ・自然動態（出生・死亡）及び社会動態（転入・転出）から捉えた人口動態の推移

(4) アンケート調査の実施

- ・本市に即した人口ビジョンを策定すること、また将来展望を導き出すために、様々な角度から現状を捉えて分析する。

【例】○住民の結婚・出産・子育てに関する意識や希望

○地方移住の現状や希望

○高校、大学卒業後の地元就職率の動向や進路希望状況

○経済的・社会的・文化的に一体性を有する圏域を単位とする地域連携

●U・I・Jターンに関する希望

●柏原市への来訪頻度・目的

●必要と感じる施設 等

(※○は市内郵送調査で2,000件、●はWebアンケートを想定)

(5) その他

- ・産業別就業者等の現状把握。

4. 将来人口の推計と分析

人口推計の手法としては、国立社会保障・人口問題研究所の推計値を基礎資料としつつ、国勢調査や各種調査、地域経済分析システムの活用、さらにアンケート調査結果などをもとに、柏原市の特徴をとらえた推計を行います。

(1) 総人口、年齢区分別の人口

- ・国勢調査の数値及び国立社会保障・人口問題研究所の推計値を採用。

(2) 仮定値を用いた将来人口推計と分析

- ・国立社会保障・人口問題研究所の推計値に想定される出生率や移動率を考慮して推計しなおしたもの。複数パターンを考察することが必要。

5. 人口の変化が将来に与える影響の分析・考察

6. 人口の将来展望

(1) 将来展望に必要な調査・分析

(2) 目指すべき将来の方向

市では、第4次柏原市総合計画において2020年の目標人口を80,000人としているが、調査結果や現状分析を踏まえたうえで、目指すべき将来の方向性を見据え、この目標を修正し、そして2060年の人口を設定していく必要がある。

(3) 人口の将来展望

- ・各種人口推計による将来像